

第134期 年次報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日



国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

株主の皆様へ To Our Shareholders



代表取締役会長

鈴木 光



代表取締役社長

赤松 恭夫

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「第134期年次報告書」(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におきましては、国内の需要動向の変化や原燃料高による影響のなか、国内の販売力強化及び収益基盤の拡充を図るべく平成19年10月1日に柏井紙業株式会社と業界初の代理店と卸商の垂直型合併を行いました。また、国際競争力強化を視野に入れた海外拠点の拡大を行い、経営の一層の効率化に取組むとともに収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は4,230億77百万円、営業利益は49億2百万円、経常利益は45億37百万円、当期純利益は32億29百万円となりました。

当社は、各事業年度の業績の状況と将来の事業展開

等に備えるための内部留保を、総合的に勘案しつつ、株主の皆様へ安定的に利益還元を実施することを基本方針とし、当連結会計年度の期末配当につきましては、2円増配の1株当たり8円の普通配当といたしました。

昨今の紙業界は原燃料の高騰により、収益そのものが圧縮されてきており、更にコンプライアンス問題の指摘を受けた事であつてない混乱期にあります。

更に、流通業のそのものの価値観・存在感が問われる危機的な時代であり、代理店としてより一層の体質改善が求められる時だけに、当社は過去の慣習に流される事なく画期的な意図のもと、極めてスリムな経営陣と若手への切り換えを積極的に推し進める体制作りを踏み切りました。

これからは正に、知力、気力、体力を武器に積極的な経営と若手本部長(支店長)の強い意欲のもと、突き進んでいくものと大いなる期待をしております。

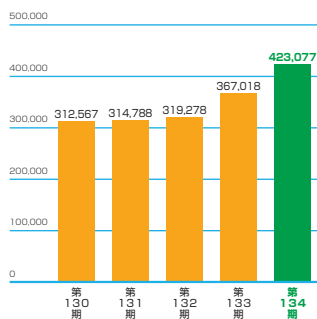
当社グループは、今後、新体制の下、紙業界のリーディングカンパニーとして市況水準の適正化と安定化に努めるとともに、海外への販売力強化を図ってまいります。また、内部統制の充実ならびにコンプライアンスの徹底に努め、ラオスにおける植林事業をはじめとする環境問題を経営の重要課題と位置づけ、環境負荷の低減、資源の保護と循環型社会の構築に取組む所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

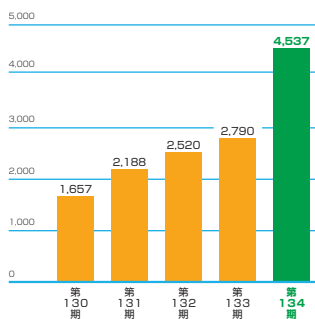
平成20年6月

財務ハイライト(連結) Business Highlights

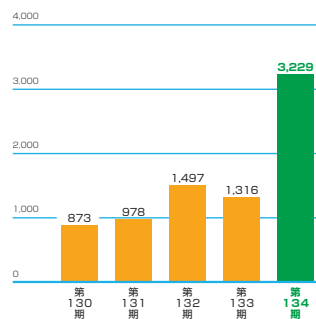
売上高 (単位: 百万円)



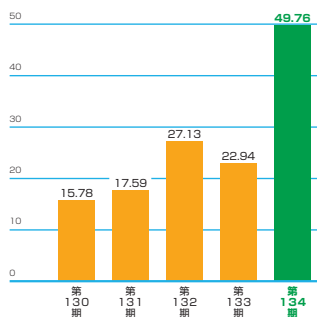
経常利益 (単位: 百万円)



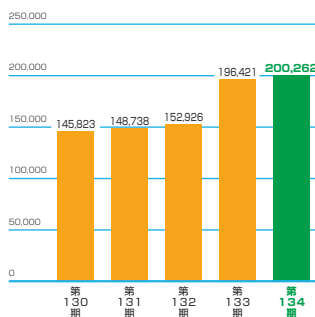
当期純利益 (単位: 百万円)



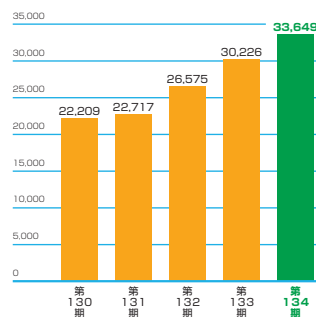
1株当たり当期純利益 (単位: 円)



総資産 (単位: 百万円)



純資産 (単位: 百万円)



	第130期 平成16年3月期	第131期 平成17年3月期	第132期 平成18年3月期	第133期 平成19年3月期	第134期 平成20年3月期
売上高 (百万円)	312,567	314,788	319,278	367,018	423,077
経常利益 (百万円)	1,657	2,188	2,520	2,790	4,537
当期純利益 (百万円)	873	978	1,497	1,316	3,229
1株当たり当期純利益 (円)	15.78	17.59	27.13	22.94	49.76
総資産 (百万円)	145,823	148,738	152,926	196,421	200,262
純資産 (百万円)	22,209	22,717	26,575	30,226	33,649
1株当たり純資産額 (円)	414.23	423.61	495.56	480.99	499.56

■ 営業の概況 Our Vision

当連結会計年度における我が国の経済は、企業の設備投資やアジア・中東などの新興国への輸出の増大などに支えられ概ね堅調に推移しておりましたが、期央より顕在化した米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱と同時株安が進むなか、米国経済の減速による円高の進行、原油をはじめとした原燃料の高騰など、景気は停滞感が強まってきております。

紙パルプ業界におきましては、輸出が年間を通して拡大したものの、国内需要は個人消費の一進一退感を反映して対前年横這いとどまりました。一方、原燃料価格の高騰で昨年の価格修正にも拘らずメーカーの収益環境は大幅に悪化しており、再度の価格修正を早期に行わざるを得ない状況となっておりますが、年初からの古紙配合率偽装問題の発覚から需要家との交渉難航も予想され、今後の成り行きが懸念されるところであります。

このような状況のなかで、当社は直面する厳しい市場環境、経営環境を踏まえ、流通として求められる機能を更に充実し経営基盤の強化を図るため、平成19年10月1日柏井紙業株式会社と業界初の代理店と卸商の垂直型合併を行い、経営の一層の効率化に取り組むとともに収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の当社グループの業績につきましては、売上高は4,230億77百万円（前期比15.3%増）、営業利益は49億2百万円（同58.6%増）、経常利益は45億37百万円（同62.6%増）、当期純利益は32億29百万円（同145.3%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

＜紙パルプ等卸売事業＞

紙分野では、出版部門は雑誌を中心に発行部数の減少傾向と返本率の上昇等厳しい環境が続いておりますが、情報関連ではPPC用紙が好調な荷動きを見せ、また商業印刷部門ではデジタル家電向けカタログやチラシ等の需要が堅調に推移いたしました。

板紙部門では段ボール部門が飲料品、加工食品向けを中心に堅調な荷動きを見せましたが、紙器用板紙やその他板紙は環境問題を背景とした省包装化や軟包装化へのシフトにより需要は伸び悩んでおります。

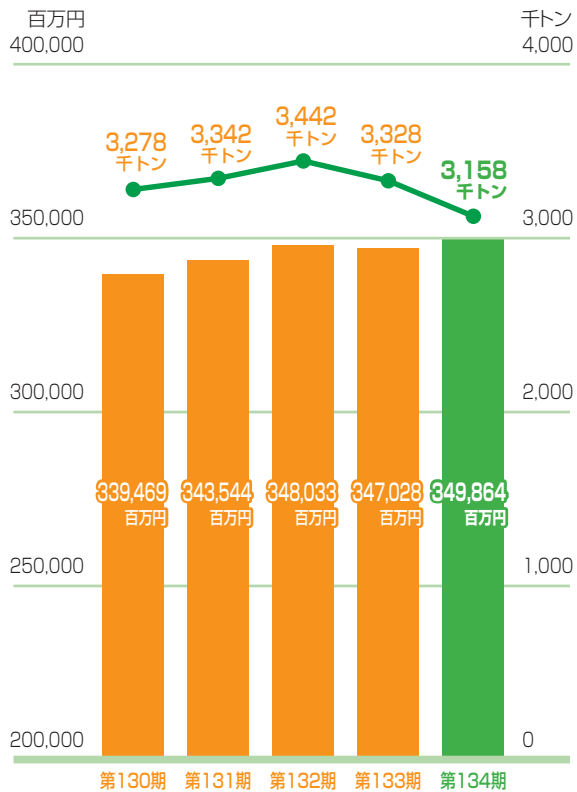
この結果、売上高は4,217億29百万円（同15.3%増）となりました。

＜不動産賃貸事業＞

企業業績の堅調さに伴い大都市圏では空室率が低下しており、特に東京主要5区での需要は旺盛です。しかし賃料については見直し気運が高まり上昇傾向が一段落となっております。当社の主要な賃貸物件の名古屋支店ビルは満室となりましたが、京橋ビルのテナントの退去があり、賃貸料収入は横ばい状態となっております。

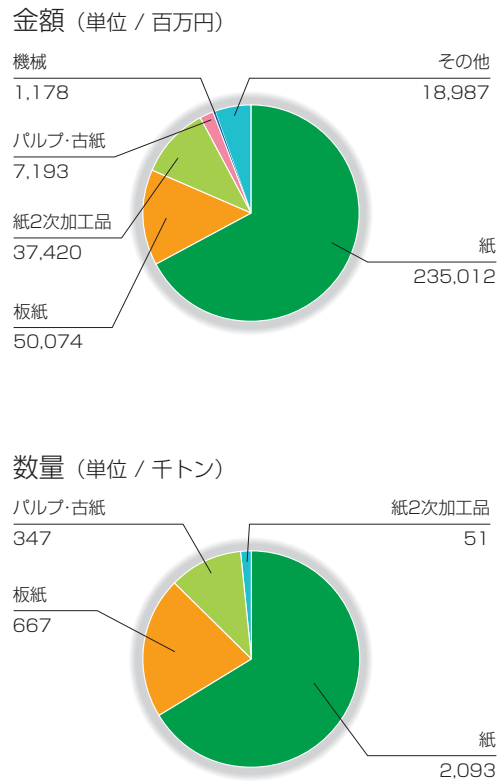
この結果、売上高は13億48百万円（同5.6%増）となりました。

■ 売上高・売上数量推移



※ 売上高・売上数量は合併会社分を合算しております。

■ 品種別売上金額・数量割合実績(第134期)



連結財務諸表

Financial Statements

連結貸借対照表

(単位: 百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当連結会計年度 平成20年3月31日	前連結会計年度 平成19年3月31日
流動資産	151,778	145,912
現金及び預金	2,370	2,369
受取手形及び売掛金	128,097	123,345
たな卸資産	18,273	17,066
繰延税金資産	1,697	1,291
その他	3,117	3,275
貸倒引当金	△ 1,777	△ 1,436
固定資産	48,484	50,508
有形固定資産	25,636	24,075
建物及び構築物	7,550	7,018
機械装置及び運搬具	56	66
器具備品	154	188
土地	17,715	16,735
建設仮勘定	160	66
無形固定資産	699	1,043
投資その他の資産	22,148	25,389
投資有価証券	19,283	23,355
長期貸付金	28	55
繰延税金資産	491	238
その他	3,035	2,418
貸倒引当金	△ 690	△ 677
資産合計	200,262	196,421

(単位: 百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当連結会計年度 平成20年3月31日	前連結会計年度 平成19年3月31日
流動負債	149,311	148,528
支払手形及び買掛金	107,243	105,346
一年内償還社債	600	-
短期借入金	30,518	32,854
コマーシャルペーパー	5,000	5,000
未払法人税等	1,109	674
賞与引当金	967	-
役員賞与引当金	71	53
その他	3,801	4,598
固定負債	17,301	17,667
社債	750	-
長期借入金	8,003	7,421
繰延税金負債	4,258	5,549
退職給付引当金	902	827
役員退職慰労引当金	329	333
負ののれん	2,099	2,385
その他	957	1,149
負債合計	166,612	166,195
株主資本	32,739	27,247
資本金	3,442	3,192
資本剰余金	7,882	5,629
利益剰余金	21,426	18,572
自己株式	△ 12	△ 147
評価・換算差額等	725	2,850
その他有価証券評価差額金	934	3,045
繰延ヘッジ損益	△ 8	△ 23
為替換算調整勘定	△ 200	△ 171
少数株主持分	184	128
純資産合計	33,649	30,226
負債及び純資産合計	200,262	196,421

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日
売上高	423,077	367,018
売上原価	396,378	344,040
売上総利益	26,699	22,978
販売費及び一般管理費	21,796	19,887
営業利益	4,902	3,090
営業外収益	1,032	741
営業外費用	1,397	1,041
経常利益	4,537	2,790
特別利益	736	95
特別損失	835	674
税金等調整前当期純利益	4,438	2,211
法人税、住民税及び事業税	1,585	951
法人税等調整額	△ 438	△ 62
少数株主利益	63	5
当期純利益	3,229	1,316

連結キャッシュ・フロー(要旨)

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,996	3,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	606	△ 432
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,638	△ 6,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	25
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額(△))	△ 22	△ 2,508
現金及び現金同等物の期首残高	2,186	1,903
新規連結子会社の現金及び現金同等物の増加額	—	112
合併による現金及び現金同等物の増加額	35	2,679
現金及び現金同等物の期末残高	2,199	2,186

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 平成19年4月1日～平成20年3月31日

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定		
平成19年3月31日 残高	3,192	5,629	18,572	△ 147	27,247	3,045	△ 23	△ 171	128	30,226
連結会計年度中の変動額										
合併による増加	250	2,196			2,446					2,446
剰余金の配当			△ 375		△ 375					△ 375
当期純利益			3,229		3,229					3,229
自己株式の取得				△ 3	△ 3					△ 3
自己株式の処分		56		138	194					194
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 2,111	14	△ 28	56	△ 2,068
連結会計年度中の変動額合計	250	2,252	2,854	135	5,492	△ 2,111	14	△ 28	56	3,423
平成20年3月31日 残高	3,442	7,882	21,426	△ 12	32,739	934	△ 8	△ 200	184	33,649

個別財務諸表

Financial Statements

個別貸借対照表

(単位: 百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当事業年度 平成20年3月31日	前事業年度 平成19年3月31日
流動資産	132,881	129,372
現金及び預金	949	871
受取手形	30,818	31,267
売掛金	80,866	75,948
商品	14,846	12,977
繰延税金資産	1,562	1,277
短期貸付金	5,484	7,863
その他	1,100	1,370
貸倒引当金	△ 2,745	△ 2,204
固定資産	47,321	49,491
有形固定資産	24,721	23,197
建物	7,286	6,716
車両運搬具	4	8
器具備品	110	131
土地	17,160	16,273
建設仮勘定	160	66
無形固定資産	630	943
投資その他の資産	21,969	25,351
投資有価証券	15,959	19,143
関係会社株式	3,640	4,429
関係会社出資金	117	117
長期貸付金	27	53
長期営業債権	402	637
その他	2,414	1,789
貸倒引当金	△ 593	△ 819
資産合計	180,203	178,864

(単位: 百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当事業年度 平成20年3月31日	前事業年度 平成19年3月31日
流動負債	131,343	132,066
支払手形	4,970	5,730
買掛金	90,411	88,594
一年内償還社債	600	—
短期借入金	26,000	28,562
コマーシャルペーパー	5,000	5,000
未払金	1,961	2,184
未払法人税等	857	529
賞与引当金	870	—
役員賞与引当金	60	46
その他	612	1,417
固定負債	17,041	17,003
社債	750	—
長期借入金	8,000	7,174
繰延税金負債	4,214	5,440
退職給付引当金	768	629
役員退職慰労引当金	277	262
預り保証金	944	1,131
負ののれん	2,086	2,364
負債合計	148,385	149,070
株主資本	31,034	26,764
資本金	3,442	3,192
資本剰余金	7,750	5,553
資本準備金	1,160	1,160
その他資本剰余金	6,590	4,393
利益剰余金	19,853	18,026
利益準備金	669	669
その他利益剰余金	19,184	17,357
固定資産圧縮積立金	1,299	1,338
海外投資等損失準備金	28	25
別途積立金	10,527	10,527
繰越利益剰余金	7,328	5,466
自己株式	△ 12	△ 9
評価・換算差額等	783	3,029
その他有価証券評価差額金	776	3,025
繰延ヘッジ損益	7	3
純資産合計	31,818	29,793
負債及び純資産合計	180,203	178,864

損益計算書(要旨)

(単位: 百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当事業年度	前事業年度
	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日
売上高	344,261	299,096
売上原価	322,479	280,400
売上総利益	21,782	18,696
販売費及び一般管理費	18,319	16,565
営業利益	3,462	2,131
営業外収益	1,204	947
営業外費用	825	711
経常利益	3,841	2,367
特別利益	526	79
特別損失	896	645
税引前当期純利益	3,471	1,801
法人税、住民税及び事業税	1,244	703
法人税等調整額	20	18
当期純利益	2,206	1,079

財務指標(個別)

	当事業年度	前事業年度
売上高経常利益率	1.1%	0.8%
総資本経常利益率(ROA)	2.1%	1.5%
株主資本純利益率(ROE)	7.2%	3.8%
株主資本比率	17.7%	16.7%

株主資本等変動計算書

当事業年度 平成19年4月1日～平成20年3月31日

(単位: 百万円、百万円未満は切捨て)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	
平成19年3月31日 残高	3,192	5,553	18,026	△9	26,764	3,025	3	29,793
事業年度中の変動額								
合併による増加	250	2,196			2,446			2,446
剰余金の配当			△379		△379			△379
当期純利益			2,206		2,206			2,206
自己株式の取得				△3	△3			△3
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△2,249	3	△2,245
事業年度中の変動額合計	250	2,196	1,826	△3	4,270	△2,249	3	2,024
平成20年3月31日 残高	3,442	7,750	19,853	△12	31,034	776	7	31,818

■ TOPIX

■ ラオスへの植林を推進 ■

東南アジアの農業国ラオス。ここで当社の参加する植林事業が行われています。毎年7,000haにユーカリ・アカシアを植えています。その木が成長し、実際に伐採できるのに7年。長い年月をかけながらも循環型社会の構築のため、今後も植林事業を推進してまいります。



■ 広がる紙のリサイクル ■

名古屋港にほど近い愛知県東海市。ここに平成19年4月から当社が手がける古紙事業の第三の拠点「東海リサイクルセンター」があります。ここでは大型トラックに交じって普通の乗用車が入ってきます。通勤や買物の行き帰りに古紙を持参する人々。市民参加型のリサイクルプラザとして、益々注目を集めています。



■ KPP開発商品展示会を開催 ■

当社の新事業開発部門である営業推進営業本部では、去る11月26日～28日に「創紙力」と題して、第2回KPP開発商品展示会を開催いたしました。紙パルプ業界においては情報媒体が多様化し、Web戦略を絡めた新たなビジネスモデルの提案が必要不可欠となっております。今回の展示会では社内外にKPPの新たな取り組みや開発商品を映像、展示、及び実演を交えて紹介しました。今後とも情報発信基地としてKPPの存在価値を更に広めていきたいと思っております。



株式の状況・会社概要

Stock Information · Corporate Profile

株式の状況（平成20年3月31日現在）

発行可能株式総数	267,500,000株
発行済株式の総数	66,989,775株※
当期末株主数	1,089名

※ 自己株式37,631株を除く。

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
王子製紙株式会社	12,736	19.0
日本製紙株式会社	6,028	9.0
株式会社みずほコーポレート銀行	2,857	4.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,625	3.9
株式会社三井住友銀行	2,625	3.9
農林中央金庫	2,625	3.9
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,180	3.2
国際紙パルプ商事従業員持株会	2,068	3.0
北越製紙株式会社	1,851	2.7
三井住友海上火災保険株式会社	1,829	2.7

取締役及び監査役（平成20年6月25日現在）

代表取締役会長	鈴木 光
代表取締役社長	赤松 恭夫
専務取締役	田辺 円
常務取締役	日置 宗孝 島田 敏 今堀 章
取締役	高田 正博 大橋 雄二 垣津 雅義 西村 邦敏 田中 康友 原 敬三 桜井 光明 鈴木 正宣
取締役(非常勤)	富岡 孝雄
常任監査役(常勤)	名越 响一
監査役(常勤)	小林 圭介 有岡 芳明
監査役	小林 敏郎

会社の概況（平成20年3月31日現在）

社名	国際紙パルプ商事株式会社
設立	1924年(大正13年)12月1日
本社	東京都中央区明石町6番24号
従業員数	750名

■営業拠点

大阪支店	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-6
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-20
九州支店	〒812-0039 福岡市博多区冷泉町7-15
京都支店	〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入 京都三井ビル
仙台支店	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-2-10 仙都会館ビル
札幌支店	〒060-0002 札幌市中央区北2条西2-1-5 服部ビル
神戸支店	〒650-0001 神戸市中央区加納町4-10-21
広島営業所	〒730-0013 広島市中区八丁堀2-31 広島鴻池ビル

ケービービー中国【Kokusai Pulp & Paper (China) Company Limited】
中華人民共和国 上海市婁山関路83号 新虹橋中心大厦 第28層2801室
・北京支店

海外部門

(株)ダイエイペーパーズインターナショナルコーポレーション
〒104-0044 東京都中央区明石町6-24
・ソウル支店

